



ファシリテーションで会議を円滑に！～日本ファシリテーション協会 和歌山サロン～

特定非営利活動法人「日本ファシリテーション協会」(FAJ) から公認を受け活動している和歌山サロンでは、誰でもファシリテーションを学ぶことができる学びと実践の場を提供しています。その現場におうかがいしました。



取材にお伺いした朝ファシの様子



和歌山サロンのみなさん

「ファシリテーションとは、会議・研修などにおける参加者同士のコミュニケーションを促進・補助するために用いられるサポートや技術のことです。この技術を駆使し、話し合いや議論をより良い方向に進めるために全体の流れを仕切る役割を担う人を「ファシリテーター」と呼びます。

この説明だけでなく、ファシリテーションは円滑な「司会進行」だけに捉えられがちですが、ファシリテーションを行う上では、議論に参加している人の意見・心情を察知し参加者の考えを引き出した後、全体での合意形成を促したり、司会進行よりも一歩踏み込んだ

だ立場と広い視点が求められます。

今の時代に必要なのは、和歌山サロンでは、ワークショップや県外 FAJ 会員やそのネットワークを利用した客員を招いての年 2 回程度の定例会、毎年春から秋にかけて毎週土曜日の朝 7 時からファシリテーションを勉強・実践する朝のファシリ

テーション勉強会(通称「朝ファシ」)を開催して、グループ活動の円滑化にできるような支援し、うまくことが運ぶよう舵取りする技術を広めています。

朝ファシではオンライン会議システムを駆使し、那智勝浦町にサテライト会場を開いたシリーズも、和歌山サ



ロンは FAJ の地方組織の中ではかなり積極的に活動しており、勉強会の開催数は全国的にも群を抜いて多いとのこと。

朝活で学べます。会議において、議論が行き詰って停滞してしまう、決まった特定の人のみが発言するようになってしまふ、議論の方向性が定まらず内容が散らかってしまふことなどは誰しも少なからず経験したことがあると思います。

そんな事態を打開することのできる方法を朝から学べる朝ファシは 2013 年 7 月から始まり、今年度で第 12 シーズンを迎えます。

朝活で学べます

日程	9月18日(水) 18:30～21:00
場所	和歌山市地域フロンティアセンター会議室(フォルテワジマ6階)
内容	秋野菜の栽培について学びます
参加費	500円(資料代)
主催	わかやまマイネ! プロジェクトまちなか百姓養成塾 チーム
連絡先	090-1156-6799 waiprojimu@gmail.com
備考	奇数月第3水曜に開催予定。別途、販売会も計画中。



日本ファシリテーション協会 和歌山サロン
E-mail wakayamaf@gmail.com

◆朝のファシリテーション勉強会について
【場所】コワーキングスペース「コンセント」(和歌山市万町 4 ニューリチャードビル3階)またはオンライン (Zoom を使用)

【対象】ファシリテーションを学びたい方・朝活に興味のある方など
【定員】会場参加、オンライン参加ともに 10 人程度ずつ
【参加費】対面参加：1,000 円 (ドリンク・おやつ付き)
オンライン参加：500 円
要申込となります。詳しくはメールでの問い合わせが QR コードをご確認ください。



2024 年度 わかやま SDGs パートナシップ基金 まもなく今年度事業に向けてのご寄附受付を開始します

みんなの力で SDGs 達成を!

今年度は子ども食堂・地域食堂をはじめ、地域コミュニティの再生につながる活動をテーマとする予定です

和歌山県内の「子ども食堂」は和歌山県調べで 76 カ所 (2024 年 6 月末現在) となっており、年々増加中。和歌山県は全小学校区に 1 カ所、約 200 カ所の子ども食堂の開設を目指して取り組みを進めています。名称こそ「子ども食堂」ですが、子どもだけではなく、保護者、一人暮らしの年寄りなど様々な方が利用できる「地域食堂」としての役割を担う場所が増えており、子ども食堂・地域食堂が「地域コミュニティの核のひとつ」を担えるのではないかと期待されています。

一方、住民が集まれる場として、自宅にある不要になった本を持ち寄る「みんなの図書館」、空き家や空き店舗を活用した「みんなの居場所」などといった形での地域コミュニティの再生を目指す取り組みも急速に広がっています。

そこで、今年度のわかやま SDGs パートナシップ基金では、子ども食堂や地域食堂など「食を通じた地域福祉・コミュニティ再生」、みんなの居場所など「コミュニティづくり活動」に携わる団体に対する助成を計画しています。

まもなく、助成金の原資となる基金へのご寄附受付を開始する予定です。

高齢化の進展だけではなく、高齢人口の減少も始まり、今後の地域の担い手になる現役世代への負担がますます増大することが懸念されています。みなさんのご寄附を、地域コミュニティの再生等に役立てられるよう準備を進めています。ぜひみなさんのご協力をいただきますようお願いいたします。

主な用途の想定

- ▶ 子ども食堂・地域食堂の運営経費
- ▶ みんなの図書館・みんなの居場所の運営経費・初期費用として

特に、その事業をおこなうことで「地域にどのような効果が期待できるのか」を重視して、審査を実施する予定です。

ご支援の方法

- ▶ 1 口 3,000 円からクレジットカード決済・銀行口座への振り込みにより受け付けます。受付を開始した段階で改めてご案内します (9 月開始予定)
- ▶ 本基金へのご寄附は寄附金税制の対象となります。
※ 寄附金控除について
個人の方は、ご寄附いただいた金額から 2,000 円を差し引いた金額の最大 50% が、確定申告により所得税等から控除されます。(例) 1 万円をご寄附いただいた場合は、最大 4,000 円が所得税等から控除されます。
法人の場合は損金算入限度額が拡大されます。(例) 資本金 1,000 万円、所得金額 1,000 万円の場合、一般損金算入限度額約 6.9 万円とは別に、特別損金算入限度額約 33.1 万円までのご寄附が損金に算入できます。

【運営】
認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 info@wnc.jp https://wnc.jp/
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】

和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

まちなか百姓養成塾